

パブリックコメント手続実施結果（No.1）

1. 意見を求めた事項：南相馬市保育園及び幼稚園の一部を廃止する（素案）
2. 意見等の募集期間：令和3年9月15日（水曜日）～令和3年10月4日（月曜日）
3. 意見提出者：2名
4. 意見総数：2件
5. パブリックコメントで寄せられた意見の概要と市の考え方

(1) 市の考え方

ご意見をいただき検討を重ねた結果、本素案は見送ることといたしました。

ご提出いただきましたご意見につきましては、今後保育環境の向上のための参考とさせていただきます。

(2) 寄せられた意見

No.	ご意見の概要	意見
1	<p>大木戸地区の戸数が増加している状況下において「石神第二幼稚園の廃止案」には驚いている。幼稚園がコミュニティーとして学校や地域社会に繋がってきたものが、幼児期から外されるのではないかとと思われる。</p> <p>廃止の結論は、試験的にも「開園」を行ってから、その結果を踏まえた上で、廃止の決定の有無を判断すべきでないか。予算や運営費用等から支障があるならば施設を民間に委託や売却等考慮すべきと考える。</p>	意見
2	<p>休園施設の廃止案には、賛成する。</p> <p>長年休園しており、現在の保育園・幼稚園の利用者に支障がなく、市内の開園中の保育施設で今後も対応可能である。また、少子化の問題もあり、人数を分散させず集団学習に必要な人数を確保することも必要になる。</p> <p>休園施設の有無が帰還の問題と関連しているとは考えられない。</p> <p>今後必要な施設等に転用し、利便性を良くしたほうが市全体の利益となると考える。</p>	意見

パブリックコメント手続実施結果 (No. 2)

— 各区地域協議会 —

1. 意見を求めた事項：南相馬市保育園及び幼稚園の一部を廃止する（素案）
2. 意見等の募集期間：令和3年9月15日（水曜日）～10月4日（月曜日）
3. 意見提出者： 8人
4. 意見総数： 12件
5. パブリックコメントで寄せられた意見の概要と市の考え方

(1) 市の考え方

ご意見をいただき検討を重ねた結果、本素案は見送ることといたしました。

ご提出いただきましたご意見につきましては、今後保育環境の向上のための参考とさせていただきます。

(2) 寄せられた意見

No.	ご意見の概要	市の補足説明	区分
1	老朽化している施設の廃止はやむを得ないと考えるが、子どもを増やすため、居住人口を増やすためにはどういう取り組みをするのが大事であり、今後、市の様々な計画の中で反映してほしい		意見 小高区 地域協議会
2	<p>保育所や幼稚園から小学校に入学し、小学校生活に慣れない子供は不安や落ち着かない状態が見られ、それが続くと小1プロブレムが起きる。保育所や幼稚園と小学校が隣接していれば、慣れない子供たちは放課後に幼稚園や保育所に立ち寄って心を落ち着かせることができるし、幼稚園や保育所との旧担任等との交流によって不安を解消することができる。</p> <p>少子化に伴う定員割れや施設等の老朽化及び維持管理面から考えると廃止もやむを得ないと思われるが、廃止の場合はできるだけ子供の心に寄り添った対策を講じてほしい。</p> <p>具体例として、子供たちの不安を解消し、安心や自信をもって学校生活を送れるよう保育者や幼稚園教諭と小学校の教諭の交流のみならず、園児と児童が交流できるような場の設定も考えてほしい。</p>	<p>○市では、平成29年3月に告示された幼稚園教育要領、保育所保育指針及び幼保連携型認定こども園教育・保育要領において、「幼児期の終わりまでに育ってほしい10の姿」が示されており、また小学校の学習指導要領では「幼児期の終わりまでに育ってほしい10の姿」を引き継ぐ形でスタートカリキュラムが義務づけられました。</p> <p>このことから幼稚園、保育園及びこども園と小学校の接続・連携はこれまで以上に重要と認識し、連携を円滑に進めるために保育士幼稚園教諭・小学校教諭との交流をはじめ、小1プロブレムに陥らないよう各種取組を実施しているところであります。</p>	意見 原町区 地域協議会

No.	ご意見の概要	市の補足説明	区分
3	<p>東日本大震災等による休園は幼児・父兄にも大きな変化をもたらしている。その中で、私立幼稚園は施設の充実に努力を重ねて、充実した幼児教育の研究がされ、公立幼稚園に劣る事のなきよう取組んでいる事が如実に見える。父兄は私立幼稚園の姿勢に好感を持ち、私立幼稚園を希望するようになっている。</p> <p>ただし、原町の場合、石神第二小学校区の児童数は市内でも多い方であり、発展をしている地域でもある。現時点では廃止は妥当であるとしても、今後数年毎程度に幼児を持つ保護者に要望等について調査していく必要があると考える。</p>	<p>○ご意見のとおり、子育て施策の充実を図るためには、対象者のニーズを常に把握することが必要と認識しております。市では、子ども・子育て支援計画作成の際のアンケート調査や教育委員会が実施する「南相馬市の教育に関するアンケート調査」等の調査を行っており、これらの結果を参考に、市全体の保育環境の向上のため、きめ細やかな対応に努めてまいります。</p>	意見 原町区 地域協 議会
4	<p>石神第二幼稚園の廃止を突然提案され困惑している。アンケート結果についても、震災後10年以上再開せず休園状態のままだったことが保護者サイドの意向の変化にもなっているのではないのでしょうか。一度は再開してみることも必要だったのではないのでしょうか。その間なにもせず、突如の廃園、行政サイドの努力不足、落ち度だと思います。</p> <p>地域のシンボリック施設の統廃合については地区住民の意見等を十分把握して事を進めるべきであり、我々石神地区に育った人間としては石神地区をないがしろにしているように感じられる。</p> <p>当地域の就学児童が極端に減少している場合には廃止に納得もできるが、学区内での減少は他地区ほどはないように思います。せめてシンボリックに石神地区内に幼稚園施設を一つ位残すという案はなかったのでしょうか。</p> <p>個人的には最初から廃止ありきのこの提案については納得せず、その過程のパブリックコメント手続きを行うことには断固反対です。</p>		意見 原町区 地域協 議会

No.	ご意見の概要	市の補足説明	区分
5	<p>石神地区に幼稚園は必要である。震災後、休園している中での聞き取り調査、アンケート調査結果は公正とはいえない。石神第二幼稚園を存続させ、認定こども園への統廃合を検討してはどうか。</p>		質問 原町区 地域協 議会
6	<p>放課後児童クラブについては、石神第二小学校の放課後児童クラブの児童と、社会福祉協議会が運営する仲町児童センターの児童が利用することになります。2つの児童を受け入れると今のままだと80人程度の定員になると思います。今後受入れに必要な施設の改修が必要になると思いますが、運営している中で想定外の整備必要な事項も出てくると思うので、柔軟な予算の対応を希望します。</p> <p>当面開始に必要な項目について、整備の検討をお願いします。</p> <p>① 児童・職員が利用するトイレの十分な確保 ② エアコンの整備 ③ 保護者が児童を送迎のための駐車場の確保 ④ 安全な送迎できるように表示番の設置 ⑤ 就労希望の保護者に対応するための定員の確保(4年生から6年生の受入れ増) ⑥ 勤務職員の事務所の確保 ⑦ 利用する保護者への十分な事前説明</p>		意見 原町区 地域協 議会
7	<p>利用されている保護者が「影響なし」の声が9割以上という現実、廃止はもうやむを得ないことだと思えます。</p> <p>廃止後の利活用に関しては、保護者の意見として、一時預かり保育の充実、また、石神地区に公園がないので公園を望むといった意見に同感です。そこに、シニアや高齢者も同じ公園で子どもたちを見守りながら、軽い運動ができるような設備のある風景はよりいいと思います。是非、一番には子どもが遊べる公園を望みます。</p>		意見 原町区 地域協 議会

No.	ご意見の概要	市の補足説明	区分
8-1	<p>太田、石神第一、石神第二幼稚園を同時に廃止することは問題がある。</p> <p>1)教育の機会均等の点から、原町区を東西二分してみると、東側には大甕、高平の二つの公立幼稚園があるが、西側にはなくなってしまう。保護者、子にとっては公立・私立のどちらかを選ぶ権利がある。地域や距離的な面で、選択できなくなるのは避けなければならない。</p>		意見 原町区 地域協 議会
8-2	<p>2)幼稚園は小学校就学の準備という点から、小学校と連携した教育・保育ができるよう小学校の近隣に設置することが望ましい。石神第二幼稚園を大規模リホームして存続させることを望む。</p>		意見 原町区 地域協 議会
8-3	<p>2 幼児教育の環境整備にさらなる努力をするべきである。</p> <p>1)南相馬市では待機児童ゼロに力を入れて、早急に達成出来たことは素晴らしいことである。これを達成するために多くの私立幼稚園や保育所が大きな役割を果たしてくれました。これらの私立幼稚園や保育所では、それぞれ特色ある教育目標を掲げ子どもの教育・保育にあたっているわけだが、私立の場合、各園や保育所間での職員同士の人事交流がなく、運営面での閉鎖性が出てくるのではないかと危惧します。</p>	<p>○私立幼稚園・保育園間の交流については、各園の考えになり難しい面がありますが、各園においては各種研修等の受講を積極的に行い、保育の質の向上に努めている状況にあります。</p>	意見 原町区 地域協 議会
8-4	<p>2)原町区内に幼児教育の中核となる拠点幼稚園・保育所を設置し、それを中心に地域の特色等を踏まえたうえで、目標を達成できるような方策を考えなければならないと思う。</p>	<p>○現在も各保育施設や子育て支援施設、子育て担当課を中心に子育て施策を進めております。また、今後、原町あずま保育園及び原町さくらい保育園の老朽化対策として令和7年4月開園を目指した原町区認定こども園及び同園に隣接・近接するように子育て支援の拠点整備を検討しております。これらこども園・拠点施設を中心に更なる幼児教育施策の充実に努めます。</p>	意見 原町区 地域協 議会

No.	ご意見の概要	市の補足説明	区分
8-5	3)幼稚園や保育所間の積極的な交流を図り、定期的な研修制度を設けるなどして、全体的な質の向上を図れるような予算措置が必要である。	○平成29年の幼稚園教育要領、保育所保育指針、幼保連携型認定こども園教育・保育要領の改訂により、幼稚園・保育園同一教育とされ、本市においても3法令の目的達成に向け、平成30年度から南相馬市幼児教育プログラムを実施しており、併せて保育士・幼稚園教諭の研修の充実を図っているところであります。	意見 原町区 地域協 議会

※No.1～No.1 令和3年9月24日小高区地域協議会で出された意見

No.2～No.8 令和3年9月22日まで原町区地域協議会で出された意見

(令和3年9月29日鹿島区地域協議会で出された意見はなし。)